

オートレース
中期基本方針(2021~2025年度)
の進捗について

2023年5月24日

オートレース中期基本方針 2022年度のトピック

オートレース中期基本方針

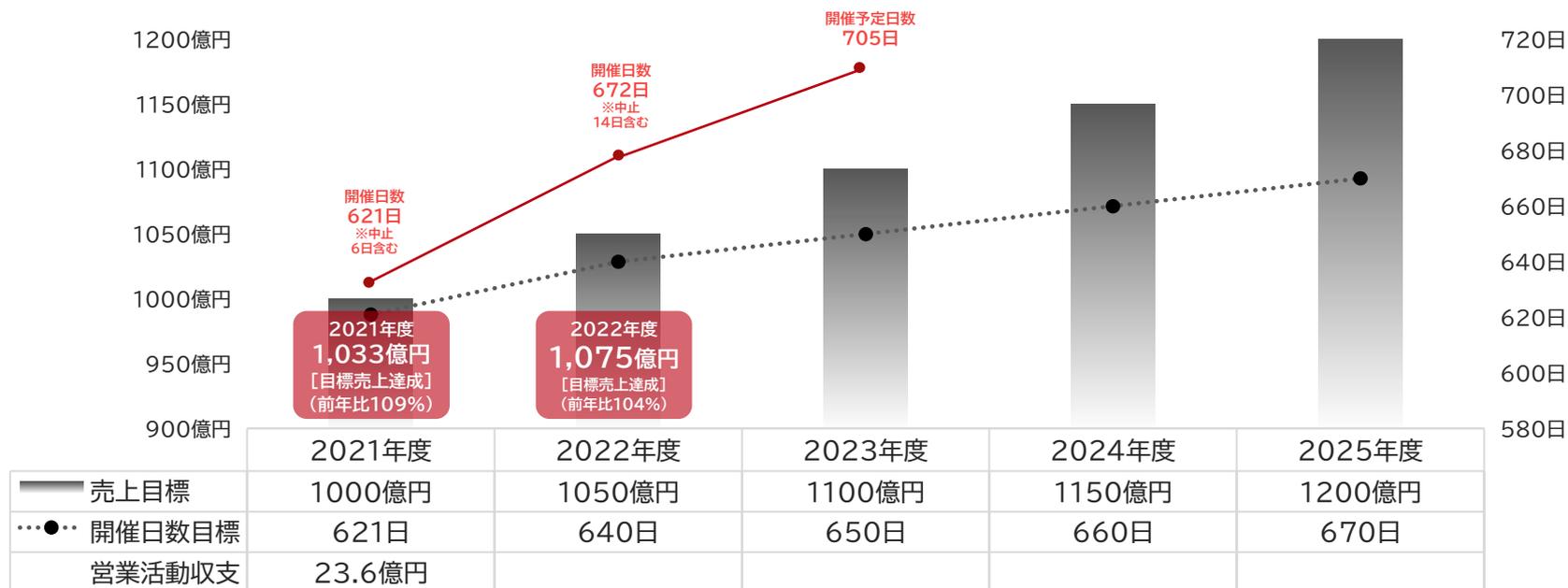
2025年度までに
目指すべき姿（目標）

売上**1,200**億円、開催予定日数**670**日、施行者営業活動収支**18**億円の達成



2022年度 事業トピック

- 2022年度売上は目標を上回る前年比104%の**1075億円**となり、**1200億円**の目標に対し**計画通りに推移**。
- 2022年度の開催予定日数は**672日**に拡大予定。2025年度目標**670日**を前倒しで達成。2022年度の省令改正で開催日数上限が緩和された事により、2023年度の開催予定日数は**705日**に拡大予定。
- 施行者収益は2021年度で**23.6億円**と、初年度において最終目標の18億円を達成。



オートレース中期基本方針 2022年度の振り返りと2023年度予定

オートレース中期基本方針 アクションプランの進捗状況

- ・ オートレースのアクションプランはカテゴリ別に施策が分類され、業界の各団体担当者が連携する形で推進されている。
- ・ 2022年度までの取組は概ね順調に進捗しており、2022年度売上は当初目標1050億円を上回る1075億円となった。
- ・ 2023年度以降もデジタル戦略を中心とした取組により、中期基本方針目標売上1200億円の達成に向け各施策を推進する。

 効率的な日程編成	課題 開催日数及び発売時間の拡大	2022年度 <ul style="list-style-type: none">● 無観客のミッドナイト開催日数39日増● 5日制のSG5開催のうち2開催を6日制に、浜松市が山陽場を借り上げてのミッドナイト開催(8日間)実施 2023年度 <ul style="list-style-type: none">● 開催日数33日増、SG5開催中4開催を6日制に拡大● 1日の発売時間拡大とレース数拡大の検討
 競走体系の改善	課題 魅力あるレースの検討	2022年度 <ul style="list-style-type: none">● 1日2回乗りレース実施(485回)● 新設GII開催(オートレースメモリアル・持ち回り開催) 2023年度 <ul style="list-style-type: none">● 企画レース拡充(2回乗り企画レース、地区対抗戦)● 新設GII開催
 選手養成関係	課題 選手応募者の増	2022年度 <ul style="list-style-type: none">● 36期より毎年選手養成(男子9名、女子3名)開始● 新たな養成カリキュラムと映像録画装置を活用した訓練 2023年度 <ul style="list-style-type: none">● 37期養成(男子10名、女子3名)開始● 学生やバイクファン層への周知拡大による選手応募者増施策
 公式投票サイト・公式キャッシュレス(AutoRace.JP)	課題 公式投票サイトの売上増	2022年度 <ul style="list-style-type: none">● 公式投票サイトリニューアル● 新決済手段追加(クレジットカード、コンビニ決済等)、公式ファンクラブサイトでの投票ポイント発行● 選手動画等のコンテンツ提供 2023年度 <ul style="list-style-type: none">● 公式キャッシュレス投票導入(川口)● 公式重勝式車券発売開始
 車載カメラ	課題 映像配信と運用手順の確立	2022年度 <ul style="list-style-type: none">● 審判判定の映像伝送● カメラの小型化及び取付位置の変更● 転倒時の機器飛散防止の検証 2023年度 <ul style="list-style-type: none">● 映像配信と運用手順の確立● 新たな機材による試行配信● 実施対象レース及び映像提供範囲の検討
 民間事業者との連携	課題 民間ポータルデータ分析後の対策検討	2022年度 <ul style="list-style-type: none">● 性別・年代別・サイト別に民間事業者データ分析● 新規専用場外(1箇所)オープン(全35ヶ所) 2023年度 <ul style="list-style-type: none">● 民間事業者データ分析に基づく顧客動向の課題と対策の検討● 新規専用場外(1箇所)オープン(全36ヶ所)
 プロモーション	課題 インターネットとマスプロモーションによる全国的な認知拡大	2022年度 <ul style="list-style-type: none">● 公式投票サイトにおけるタレントを起用してのPR● 公式YouTubeでの全レースライブ中継配信 2023年度 <ul style="list-style-type: none">● SG優勝戦のBS中継枠を2開催から3開催へ拡大● 公式キャッシュレス投票及び公式重勝式のPR

オートレース事故対策の進捗について(1)

2021年度及び2022年度に発生した3件の重大事故を受け、オートレース業界では事故再発防止委員会での検討を経て、「①施設 ②競走車 ③安全意識の啓発 ④救護」の4項目からなる再発防止策を講じた。

	再発防止策	進捗状況	確認	写真
1 施設 	緩衝柵	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 緩衝柵の支柱緩衝材の全周設置 <ul style="list-style-type: none"> ・コーナーのみ設置となっていた緩衝材の全周設置を実施 ・2022年度に5場中4場設置完了 ・山陽場は2023年8月中旬以降からの走路改修時に設置 ・緩衝材の全周措置の義務化について関係規程の改正手続きを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度措置完了 2023年度一部措置予定 	 <p>伊勢崎場の直線部支柱緩衝材</p>  <p>川口場の直線部支柱緩衝材</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 緩衝柵の点検計画的な更新 <ul style="list-style-type: none"> ・全5場で外柵の施工業者により点検完了、緊急性の高い箇所の修繕等の措置 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度措置完了 	 <p>浜松場の直線部支柱緩衝材</p>  <p>飯塚場の直線部支柱緩衝材</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 緩衝柵点検要領の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・各場の外柵施工業者による点検、修繕等の措置を行う際の緩衝柵の統一点検要領を策定 ・全場で年1回の緩衝柵定期点検を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度措置完了 	
	タイヤバリア等	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 救護員の安全確保のための緩衝材設置 <ul style="list-style-type: none"> ・救護員待機位置に緩衝材となるタイヤバリア等の設置完了 ・今後、設置したタイヤバリア等の配置方法や配置位置を含む有効性について、識者の意見聴取を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度措置完了 	 <p>タイヤバリアの設置 (伊勢崎)</p>  <p>緩衝材の設置 (川口)</p>  <p>フェンス・緩衝材の設置 (浜松)</p>  <p>タイヤバリア・クッションドラムの設置 (山陽)</p>  <p>タイヤバリア・クッションドラムの設置 (飯塚)</p>

オートレース事故対策の進捗について(2)

	再発防止策	進捗状況	確認	写真	
2 競走車 	▶ キャブレター及びリアスプロケットによるスピード抑制	・安全性の向上のため、キャブレター混合気吸入量抑制及びリヤスプロケット歯数変更に係る試作品を製作し、走行テストによる検証を行った ・検討の結果、想定した効果が得られず、加減速の効果を高める別の方策として、ミッション部品の歯数変更により検証を行うこととなり、2023年2月に試作したミッションのアウトプットスプロケットを装着し走行テストによる検証を進める	2023年度 継続検討	 リアスプロケット 歯数変更	 ミッションの アウトスプロケット歯数変更
	▶ ミッションによるスピード抑制	・引き続き、競走車関係のオートレースエンジン研究部会で今後検討を行う			
	▶ 専門部会での検討				
3 安全意識の啓発 	▶ 選手への事故防止注意喚起	・選手指導者中央訓練や事故再発防止対策特別訓練等を通じて、選手に対して改めて事故防止の注意喚起を行い、安全意識の啓発を強化した	2022年度 実施完了	 選手指導者中央訓練	
	▶ 救護員の初動対応及び救護のスキルアップを目的とした実地訓練	・東西競走会の救護員に対し救護活動の知識及び技能を習熟するための訓練を行った ・4車以上の複数落車が発生した場合の対応を想定した訓練を実施した	2022年度 実施完了	 実地での訓練 救護員の訓練 東日本競走会	 救護員の訓練 西日本競走会
4 救護 	▶ 救護マニュアルに基づいた座学による研修	・東西競走会の救護員に対し救護マニュアルに基づいた救護方法等の研修を行った ・今後東西競走会の救護マニュアルを1本化し、救護マニュアルの部門別に識者の意見聴取を行う	2022年度 実施完了	 座学による研修 救護員の研修 東日本競走会	 救護員の研修 西日本競走会
	▶ 救護員待機位置の見直し	・競走開始のスタート時に救護員は走路より5メートル内側まで下がり安全を確保し、全車通過後に、所定の救護位置につく運用変更を行った	2022年度 措置完了		

オートレース中期基本方針 2023年度～2025年度の取り組み

中期基本方針の売上目標1200億円の達成に向け、デジタル戦略をはじめとしたアクションプランを着実に推進する。引き続き1日あたりの売上を引き上げる施策を重点施策とし、開催日数及び営業活動収支の増加への取組強化を行う。

デジタル戦略の推進

